

8月 26日-9月 1日

詩編 78編

[97番の歌](#)と祈り | 開会の言葉（1分）竹林 直毅 | 阿部 直生

神の言葉の宝



1. 神に忠実ではなかったイスラエルは私たちへの警告（10分）有川 聖七

イスラエルはエホバの素晴らしい偉業を忘れた。 ([詩 78:11, 42。塔 96 12/1 29 ページ 5 節-30 ページ 1 節](#))

エホバから与えられたものに感謝しなかった。 ([詩 78:19。塔 06 7/15 17 ページ 16 節](#))

間違いから学ばず、何度もエホバに反逆した。 ([詩 78:40, 41, 56, 57。塔 11 7/1 10 ページ 3-4 節](#))

じっくり考えてみよう エホバに忠実であり続けるために大切なのはどんなことか。

2. 宝石を探し出す（10分）滝 秀貞

[詩 78:24, 25](#) マナを雨のように降らせて食べさせ、天の穀物を与えた。 25 人々は力の強い者(*天使)たちのパンを食べ、神から食物を十分に与えられた。

マナが「天の穀物」や「力の強い者たちのパン」と呼ばれているのはなぜか。 ([塔 06 7/15 11 ページ 4 節](#)) なぜマナは「天の穀物」また「天使たちのパン」と呼ばれているのですか。どちらの表現も、マナが天使たちの食べ物であったと述べているわけではありません。マナは、①天に由来するという意味で「天の穀物」と呼ぶことができました。 ([詩編 105:40](#)) 天使たち、つまり「強力な者たち」は天に住んでいるので、「天使たちのパン」という表現は、②天に住んでおられる神からマナが与えられたことを意味しているだけなのかもしれません。 ([詩編 11:4](#)) さらに、エホバは③イスラエル人にマナを与えるに際して天使たちをお用いになったのでしょうか。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(78:70-72)と関連資料から、ダビデは羊飼いの経験をとおして、楽器の考案、演奏、巧みに民を世話する様々なスキルを身に着けていたことが分かる。私たちも会衆の牧者の働きを正しく認識して、一致や喜びに資する出来ることをして感謝を示していきたいと思う。

3. 聖書朗読（4分）詩 78:1-22（教励 第5課） 向山 公庸

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 枝並 真菜 愛込 5-5 有田 優子

（3分）家から家で。聖書レッスンを勧める。（[愛込 レッスン 5 ポイント 5](#)）

5. 会話を始める 石原 小夜子 愛込 5-4 田中 麻美子

（3分）家から家で。パンフレットを使って会話を始める。聖書レッスンを勧める。（[愛込 レッスン 5 ポイント 4](#)）

6. 会話を始める 長谷川 瑛一 愛込 2-5 田中 克彦

（1分）家から家で。用件を手短に言ってほしいと言われる。聖書レッスンを勧める。（[愛込 レッスン 2 ポイント 5](#)）

7. 会話を始める 田島 智子 愛込 2-4 大谷 恵美子

（4分）日常生活で。聖書のことに触れずに、自分がエホバの証人であることを自然に伝える。聖書レッスンを勧める。（[愛込 レッスン 2 ポイント 4](#)）

クリスチャンとして生活する

96番の歌

8. 福音伝道者フィリポの手本から学ぶ（15分）討議。 大谷 正



聖書にはいろいろな人物について記録されています。良い手本もあれば悪い手本もあります。その手本から学ぶには、時間と努力が必要です。聖書を読むことに加え、じっくり考え、自分に当てはめることが大切です。

福音伝道者フィリポは、「聖なる力と知恵に満ちた」クリスチャンとして知られていました。（[使徒 6:3](#) それで兄弟たち、あなたたちの中から、聖なる力と知恵に満ちた評判の良い男性を7人選び出してください。私たちがこの必要な仕事のためにその人たちを任命します、[5](#) 皆はそのことを喜び、信仰が強く聖なる力に満ちた人ステファノ、フィリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、またアンティオキアの改宗者ニコラオを選び出した）[フィリポの手本](#)からどんなことを学べるでしょうか。

「聖書中の人物から学ぶ福音伝道者フィリポ」の[動画を再生する](#)。次の質問をする。以下の点からどんなことを学べるか。

・フィリポは状況が突然変化した時、できることを行った。（[使徒 8:1](#) サウロは、ステファノの殺害に賛成していた。その日、エルサレムの会衆に対して激しい迫害が始まった。使徒たち以外は全員、ユダヤとサマリアの全域に散らされた、[4, 5](#) さて、散らされた人々は各地を回って神の言葉の良い知らせを広めた。5 フィリポはサマリアの町に下り、キリストについて伝道し始めた）

・フィリポは伝道者が必要とされる場所へ進んで出掛けていき、祝福された。（[使徒 8:6-8](#) 群衆は皆、フィリポが言うことにじっと耳を傾け、フィリポが行う奇跡(d*しるし)を見た。7 邪悪な天使たちが、取りついていた大勢の人から、大声で叫んでは出ていった。また、体がまひした人や足が不自由な人も大勢治された。8 その町の人々は非常に喜んだ、[26-31](#) ところで、エホバの天使がフィリポに言った。「さあ、南へ、エルサレムからガザへ下る道を行きなさい」。（これは砂漠の道である。）27 そこでフィリポが出掛けいくと、エチオピアの宦官がいた。エチオピアの女王カンダケの高官で、その財宝全てを管理する人だった。この人は崇拜のためにエルサレムに行ってきて、28 その帰りに、兵車の中に座って預言者イザヤの書を朗読しているところだった。29 神が聖なる力によってフィリポに言った。「行って、この兵車に近づきなさい」。30 フィリポは並んで走り、高官が預言者イザヤの書を朗読しているのを聞いて、「読んでいる内容が分かりますか」と言った。31 高官は、「誰かが教えてくれなければ、どうして分かるでしょうか」と言った。そして、乗って一緒に座るようフィリポに頼んだ、[34-40](#) 高官はフィリポに言った。「教えてください。預言者は誰について言っているのでしょうか。自分自身ですか、それとも誰かほかの人ですか」。35 フィリポは話し始め、この聖句を手始めに、イエスについての良い知らせを告げた。36 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるでしょうか」。37—38 高官は兵車を止めさせた。フィリポは高官と水の中に下りていき、バプテスマを施した。39 2人が水から上がってくると、フィリポはエホバの聖なる力によってすぐに連れ去られた。高官はもう彼の姿を見なかったが、喜びながら進んでいった。40 フィリポはアシュドドに来ていた。そして、その地域を通ってカエサレアに着くまで全ての町に良い知らせを広めていった）

・フィリポと家族は人をもてなして祝福された。（[使徒 21:8-10](#) 次の日、そこを出てカエサレアに行き、あの7人の男性の1人である福音伝道者フィリポの家に入って、そこに泊まった。9 この男性の4人の娘は未婚で、預言をしていた。10 滞在して何日もたった時、アガボという預言者がユダヤから来た）

・ドラマに出てきた家族はフィリポの手本に倣って喜びを味わった。

迫害を逃れ必要な大きなところのどこにでも行って熱心に奉仕したフィリポに倣いった。

巡回監督を食事に招待したり、失業期間を利用して奉仕に励んだ。娘たちはCSKを卒業

9. 会衆の聖書研究（30分）徹14章11-20節 浮田蒼朗読：伊藤勇一